



福井 節子 議員

市が進めた安曇川駅前 再開発の結末と 市民への影響

問 市が認可した社会福祉法人から「建設中止」の届けと説明はあったか

答 中止の申請が届き、理事会の決定事項が添付されており、決定と受け止めました。

問 特別養護老人ホームの整備計画は。

答 健康福祉部長

第7期で未整備となった50床は、入所待ちの状況も踏まえ、第8期に整備を位置付けます。未整備に伴う介護保険料の差額は、基金に積み立てたいと考えています。

問 市が「建設困難」の判断に至ったのはいつか。法人からの説明はあったか。

答 健康福祉部長

県に確認したところ、「7月に計画変更の手続が採られ、

年度内の完成が難しくなると法人から説明があった」とのことでした。最終的には法人より、公募を辞退する旨の通知が2月17日にありました。

問 保育施設の建設中止に事業者から説明はあったか。説明を求めるべきではないか。

答 子ども未来部長

2月18日付けで中止の申請が届き、理事会の決定事項の内容が添付されており、説明と受け止めました。

問 市がもっと早く「建設困難」の判断があったら、採用問題は起こらなかったのでは。

答 健康福祉部長

運営がなされていれば指導も可能ですが、施設開設は法人の中のことですので、介入は困難でした。

問 職員採用について、複数の学校でこの法人が「内定取消し」との情報が入った。市は関与しないと言うが、こうした事態を招いた責任があるのではないか。

答 健康福祉部長

内定を受けられた学生が、その様な経過で違う道を模索される結果となり、辛いお気持ちと拝察いたします。しかし、採用については、事業者において丁寧に対応いただくべき事と考えます。

問 事業者が福祉資金を借りるのに市長名で保証した書類を提出するなど、認可した市の責任は大きい。市認可は、市内で事業をするための法人のだから法人認可の取消し、解散を求めるべきではないか。

答 健康福祉部長

市として、そこまで強く申し上げることは出来ないと考えます。

その他の質問

○コロナ禍から市民の命と健康を守るために